

ジェンダー主流化チェックリスト

2026年8月

公益財団法人ミダス財団



目次

チェックリスト：① イベント企画・運営	P03
チェックリスト：② 人材研修	P04
チェックリスト：③ 調査研究	P05
チェックリスト：④ 普及啓発活動	P06
チェックリスト：⑤ 物資支給	P07
チェックリスト：⑥ 広報	P08
チェックリスト：⑦ 人事・組織体制	P09
実施時の記録	P10

チェックリスト：① イベント企画・運営

チェック内容	はい	いいえ	該当なし	未検討
1. 対象者、申込者、参加者、登壇者、企画者について、必要な男女別・属性別データを把握し、大きな偏りがないか確認したか	☐	☐	☐	☐
2. 企画や運営に、多様な性や立場の人の意見を取り入れたか	☐	☐	☐	☐
3. 開催日時、場所、参加費、交通手段などが、特定の人に参加しにくい条件となっていないか	☐	☐	☐	☐
4. 託児、オンライン参加、バリアフリー、情報保障など、必要な参加支援を検討したか	☐	☐	☐	☐
5. 司会、登壇、責任者、受付、補助等の役割が、性別によって固定されていないか	☐	☐	☐	☐
6. 募集案内や広報物に、固定的な性別役割や偏った表現が含まれていないか	☐	☐	☐	☐

チェックリスト：② 人材研修

チェック内容	はい	いいえ	該当なし	未検討
1. 研修対象者、申込者、受講者について、必要な男女別・雇用形態別データを把握し、受講機会に偏りがないか確認したか	☐	☐	☐	☐
2. 研修対象者の選定基準が明確で、性別、雇用形態、育児・介護等による不合理な不利益が生じないか	☐	☐	☐	☐
3. 研修内容に、受講対象者の多様な意見やニーズを反映したか	☐	☐	☐	☐
4. 講師、企画者、進行役の構成が、一方の性に偏っていないか	☐	☐	☐	☐
5. 研修内容に、固定的な性別役割や、性別による能力の決めつけが含まれていないか	☐	☐	☐	☐
6. 開催日時、場所、期間、出張の必要性等が、特定の職員に不利になっていないか	☐	☐	☐	☐
7. オンライン受講、録画視聴、託児等、受講しやすくする方法を検討したか	☐	☐	☐	☐
8. 研修中の発言、演習、リーダー役等の機会が公平に与えられるようにしたか	☐	☐	☐	☐

チェックリスト：③ 調査研究

チェック内容	はい	いいえ	該当なし	未検討
1. 研究課題や調査目的に、性別・ジェンダーによる違いが関係する可能性を検討したか	☐	☐	☐	☐
2. 調査・研究上必要な場合は、対象者や回答者の男女別・属性別データを収集できる設計とし、不要な性別情報は収集しないようにしたか	☐	☐	☐	☐
3. 調査対象者や研究参加者の選定に、特定の性や属性の不必要な除外がないか	☐	☐	☐	☐
4. 調査票、質問文、選択肢に、固定的な性別役割や偏見を前提とする表現がないか	☐	☐	☐	☐
5. 調査方法、場所、時間、等が、特定の人に参加しにくい条件となっていないか	☐	☐	☐	☐
6. 調査・研究の企画、分析、監修に、多様な性や立場の人が関与しているか	☐	☐	☐	☐
7. 研究課題の性質や影響に応じて、ジェンダーに関する知識を持つ担当者または外部専門家の助言を受けたか	☐	☐	☐	☐

チェックリスト：④ 普及啓発活動

チェック内容	はい	いいえ	該当なし	未検討
1. 情報を届ける対象者や参加者について、必要な男女別・属性別データを把握し、情報が届きにくい層がないか検討したか	☐	☐	☐	☐
2. 企画や制作に、対象者や当事者を含む多様な立場の人の意見を取り入れたか	☐	☐	☐	☐
3. 内容が、固定的な性別役割や「女性らしさ」「男性らしさ」を強化していないか	☐	☐	☐	☐
4. 写真、イラスト、事例等に登場する人の性別、役割、年齢等が不自然に偏っていないか	☐	☐	☐	☐
5. 性的マイノリティや多様な家族のあり方を排除・否定する表現がないか	☐	☐	☐	☐
6. 情報を届ける媒体、場所、時間、言語、形式が、対象者にとって利用しやすいか	☐	☐	☐	☐
7. 啓発内容の性質や影響に応じて、ジェンダーに関する知識を持つ担当者または外部専門家の助言を受けたか	☐	☐	☐	☐

チェックリスト：⑤ 物資支給

チェック内容	はい	いいえ	該当なし	未検討
1. 申請者、支給対象者、実際の受取者について、必要な男女別・属性別データを把握し、支給対象や受取状況に偏りがないか確認したか	☐	☐	☐	☐
2. 物資の種類、数量、仕様が、一方の性や特定の世帯構成だけを前提としていないか	☐	☐	☐	☐
3. 性別、年齢、障害、家族構成、育児・介護等によるニーズの違いを検討したか	☐	☐	☐	☐
4. 支給基準が明確で、性別、婚姻状況、家族形態等による不合理な排除がないか	☐	☐	☐	☐
5. 支給場所、時間、申請方法、移動手段が、特定の人に利用しにくいものとなっていないか	☐	☐	☐	☐
6. 物資受取りに伴う待機、移動、手続等の負担が、一方の性に集中していないか	☐	☐	☐	☐

チェックリスト：⑥ 広報

チェック内容	はい	いいえ	該当なし	未検討
1. 広報物の企画・制作・確認に、多様な性や立場の人が関与したか	☐	☐	☐	☐
2. 写真やイラストに登場する人の人数、配置、役割が、一方の性に偏っていないか	☐	☐	☐	☐
3. 女性を補助・ケア役、男性を責任者・専門家として固定的に描いていないか	☐	☐	☐	☐
4. 性別によって、能力、性格、職業、関心等を決めつける表現がないか	☐	☐	☐	☐
5. 女性や特定の性を、装飾的、性的、受動的に扱っていないか	☐	☐	☐	☐
6. 性的マイノリティや多様な家族・パートナー関係を排除する表現がないか	☐	☐	☐	☐
7. 申込書、アンケート等で、目的のない性別欄や不必要な男女二択を設けないようにしたか	☐	☐	☐	☐
8. 広報の対象者について、必要な男女別・属性別データや既存情報を確認し、特定の層に情報が届きにくくなっていないか	☐	☐	☐	☐
9. 必要な情報が、多様な対象者に適切な媒体、形式で届くようにしたか	☐	☐	☐	☐

チェックリスト：⑦ 人事・組織体制

チェック内容	はい	いいえ	該当なし	未検討
1. 財団として、ジェンダー平等およびジェンダー主流化に関する方針を定めているか	☐	☐	☐	☐
2. ジェンダー主流化の実施責任者を明確にし、その役割を組織内で共有しているか	☐	☐	☐	☐
3. 役員、評議員、管理職、職員に加え、応募者、採用者、昇進者等の男女別・属性別構成を把握しているか	☐	☐	☐	☐
4. 採用、配置、昇進、登用の基準が明確で、性別による直接・間接の不利益が生じないものとなっているか	☐	☐	☐	☐
5. 理事会、委員会、会議等の意思決定の場に、多様な性や立場の人が参加しているか	☐	☐	☐	☐
6. 発言機会、議決権、方針決定への影響力が、一方の性に偏っていないか	☐	☐	☐	☐
7. 補助業務、雑務、ケア的業務、責任ある業務等の分担が、性別によって固定されていないか	☐	☐	☐	☐
8. 賃金、報酬、研修機会、予算、権限、業務負担に、不合理な格差がないか	☐	☐	☐	☐
9. 育児・介護、妊娠・出産等と仕事を両立でき、制度利用者が不利益を受けない仕組みとなっているか	☐	☐	☐	☐

実施時の記録

チェック結果

「はい」の割合が

%

基準達成 / 要見直し

※80%以上を基準達成とする

チェックをして気が付いたこと・その後対応したこと

その他

